

## 消費生活センターだより

### 【事例1】

ベランダにハチの巣ができていた。危険だと思ったので、ネットで調べた「地域最安」という広告の害虫駆除業者を呼んだ。作業後に12万円も請求されたが妥当な金額だろうか。

### 【事例2】

夜中にゴキブリが出てきた。あわててスマホで駆除業者を探し、「30分以内に到着」「980円～」という広告を見つけて電話した。業者が来た時にはゴキブリはいなくなっていたが、薬剤散布と侵入経路遮断が必要と言われ、1時間の作業で8万円を請求された。

### 【解説】

#### ▼極端に安い料金を表示している広告には要注意

広告をうのみにせず、必ず来てもらう前に作業内容と料金を確認しましょう。「見ないとわからない」と言われても概算だけでもたずね、不審な点があれば断りましょう。休日や夜間に駆けつけて作業してもらえば相応の料金が発生します。本当に今必要なのかよく考えましょう。

問消費生活センター相談専用電話  
TEL 06-6998-3600 (平日 9:00～16:30)  
問消費者ホットライン(土・日、祝日)  
TEL 局番無し 188(土・日、祝日 10:00～16:00)



## ネット広告の害虫駆除業者に頼んだら高額請求に！

### ▼できる限り相見積もりをとって比較、検討する

できれば複数業者から相見積もりをとって検討しましょう。「今すぐ作業しないといけない」などと不安をあおって契約を急かす業者なら、勇気を出して断りましょう。

見積もりだけを依頼する場合は申込時にその旨をはっきり伝え、出張費やキャンセル料も確認しましょう。

### ▼想定外の高額請求をされたらその場で支払うことは避ける

いったん支払った代金を取り戻すのは簡単ではありません。作業内容や金額に納得できないときは、その場で支払うことを避けるために後日の振り込みなどを交渉しましょう。

### ▼広告内容や勧誘方法などの条件によってはクーリング・オフができる

トラブルになったときは早めに消費生活センターに相談してください。

### ▼いざというときにあわてないために

環境対策課のホームページを参考にし、普段から自分でできる対策や信用できる駆除業者を調べておきましょう。



# す「わたし」を生きることが、未来を変える(全5回) すべての人が自分らしく生きられる社会へ

問人権市民相談課

TEL 06-6992-1512

### 【第5回】自分らしく生きることは、社会を変える力になる ～やさしさで支え合える未来のために～

「誰もが自分らしく生きられる社会にしたい」そんな言葉を、私は何度も口にしてきました。人が人を攻撃するとき、それはたいいてい、自分に自信が持てないとき。「認めてもらえない」「こんな自分ではダメだ」そんな思いに苦しむとき、人は心の痛みを誰かにぶつけてしまう。



俳優 谷ノ上朋美氏

その連鎖が、いじめや差別や戦争にまでつながっていくのだと思います。逆に、人が人にやさしくできるのは、心が満たされているとき。そして、人が最も幸せを感じるのは、自分らしく生きているとき。多くの心理学者がそう語っていますが、私も心からそう思います。だからこそ、自分らしさを否定するのではなく、育ててほしい。他人の正解に合わせるのではなく、自分の正解を見つけること。ありのままの自分を表現して生きること。その一步を、どうか恐れずに踏み出してほしいのです。

“自分を生きる”というのは、決してわがままに生きることではありません。むしろ、他人の違いや痛みにもやさしくなるための、最初の一步。“自分の真の心のままに生きること”なのだと思います。

私は信じています。一人ひとりが「自分らしく生きること」を認め合える社会になったとき、差別も、いじめも、戦争も、貧困も、環境問題でさえも、きっと無くすことができる。経済優先や競争ばかりの社会ではなく、やさしさで支え合い、分け合える未来へ。そのために必要なのは、私たち一人ひとりが“自分自身に戻る”ことなのだと思います。そして、この連載で私が一番伝えたかったのは、「あなたの命には、ちゃんと意味がある」ということ。そして、「ありのままの自分を信じる勇気は、社会を変える力になる」ということです。どうか、奇跡のつながりで生まれてきたその命を、大切にしてください。命をつないでくれたご先祖様は、あなたの幸せを心から願っています。大切な「今」を楽しんで、輝かせてください。やさしい未来は、そこから始まります。

谷ノ上朋美オフィシャルサイト



# パ意見募集 ブリックコメント

以下の計画などの策定にあたり、市民の皆さんから意見を募集します。

対象	募集期間	提出先・問い合わせ
① 第6次守口市総合基本計画(基本構想修正案・後期基本計画案) ※総合的かつ計画的な市政運営を行うための市の最上位計画	12月26日(金)～ 令和8年1月25日(日)	問企画課 TEL 06-6992-1404 FAX 06-6994-1691 ✉ kikaku@city.moriguchi.lg.jp
② 第3期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) ※少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少を抑制し、本市における地方創生である守口創生の取組をすすめるための総合戦略		
③ 第3次守口市教育大綱(案) ※本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の基本方針		
④ 「守口市手話言語条例(仮称)案」 ※「手話は言語である」と認識するとともに、すべての市民が障がいの有無にかかわらず、お互いの人格と個性を尊重し合う共生社会の実現に向け制定	11月25日(火)～ 12月25日(木)	問障がい福祉課 TEL 06-6992-1635 FAX 06-6991-2494 ✉ shougai@city.moriguchi.lg.jp
⑤ 守口市新型インフルエンザ等対策行動計画(第2版)	12月16日(火)～ 令和8年1月15日(木)	問健康推進課 TEL 06-6992-2217 FAX 06-6998-5563 ✉ kenkou@city.moriguchi.lg.jp

### 閲覧場所

担当課、市情報コーナー、大日サービスコーナー、各 CC、図書館、守口文化センター、市民体育館、市ホームページ、わかさ・わかすぎ園(④のみ)

### 提出方法

▽投函…各閲覧場所の回収ボックス

▽郵送…募集期間最終日の消印有効

①～③ 〒570-8666 守口市京阪本通2-5-5 守口市役所企画課宛

④ 〒570-8666 守口市京阪本通2-5-5 守口市役所障がい福祉課宛

⑤ 〒570-0033 守口市大宮通1-13-7 市民保健センター健康推進課宛

▽ファクスまたはメール…住所、氏名、電話番号を記入

# 行政事務標準文字の導入

問総合窓口課

TEL 06-6992-1530

### Q標準化で何が変わるのですか？

Aすべての自治体が同じ文字を使い行政事務を効率化するため、住民票の写しや自治体が皆さんへ発送する郵送物の宛名などに用いる文字が、今までと違ったデザインになる場合があります。

### Qどのように変わるのですか？

A部首の大きさ、曲げはねの違い、一部の長さの違いなど、デザインの差(「字形」の違い)の範囲内で変わる場合があります。漢字の骨組み(「字体」の違い)は変わりません。



### Qいつから変わるのですか？

A令和8年1月5日(月)から順次導入予定です。

### Q今までの漢字は使えないのですか？

A行政事務標準文字は、自治体が発行する証明書や印刷物、コンピューター処理などで使われるものであって、住民が同じ文字を使用しなければならないというものではありません。なお、**戸籍では従来の文字を保持し続けます。**書類などに使う文字は、手書きの文字であればこれまで通りに使えます。コンピューターから入力する文字は行政事務標準文字を利用することになります。

さらに詳しく知りたい人はデジタル庁ホームページへ

